



岐阜市決算・昨年度の不用額は約91億8千万円

学校給食無償化財源をさがす努力を！

岐阜市議会2018年9月議会で、教員の労働軽減策の一つとして「学校給食費の集金を、教員から市役所職員の事務へ変更」する話題（文部科学省の方針を受けたものと思われる）が上がりました。学校内の教員による集金作業が停止されると、業務への支障と集金作業への新たな自治体の費用負担が発生すると思われます。

松原のりかず は、学校給食について以前から無償化の質問をしてきました。岐阜県下呂市では、中学校の給食費の半額を下呂市が負担する方針を出しています。現在、岐阜市の中学校の給食費半額は約2億8900万円です。

財源は本当に無いのか？ 教育立市

岐阜市の昨年度全不用額は約91億8千万円、教育委員会は約9億5900万円あり、給食無償化の財源をさがす努力をすべきです。現在、教科書は全て無償（昭和44年から）です。

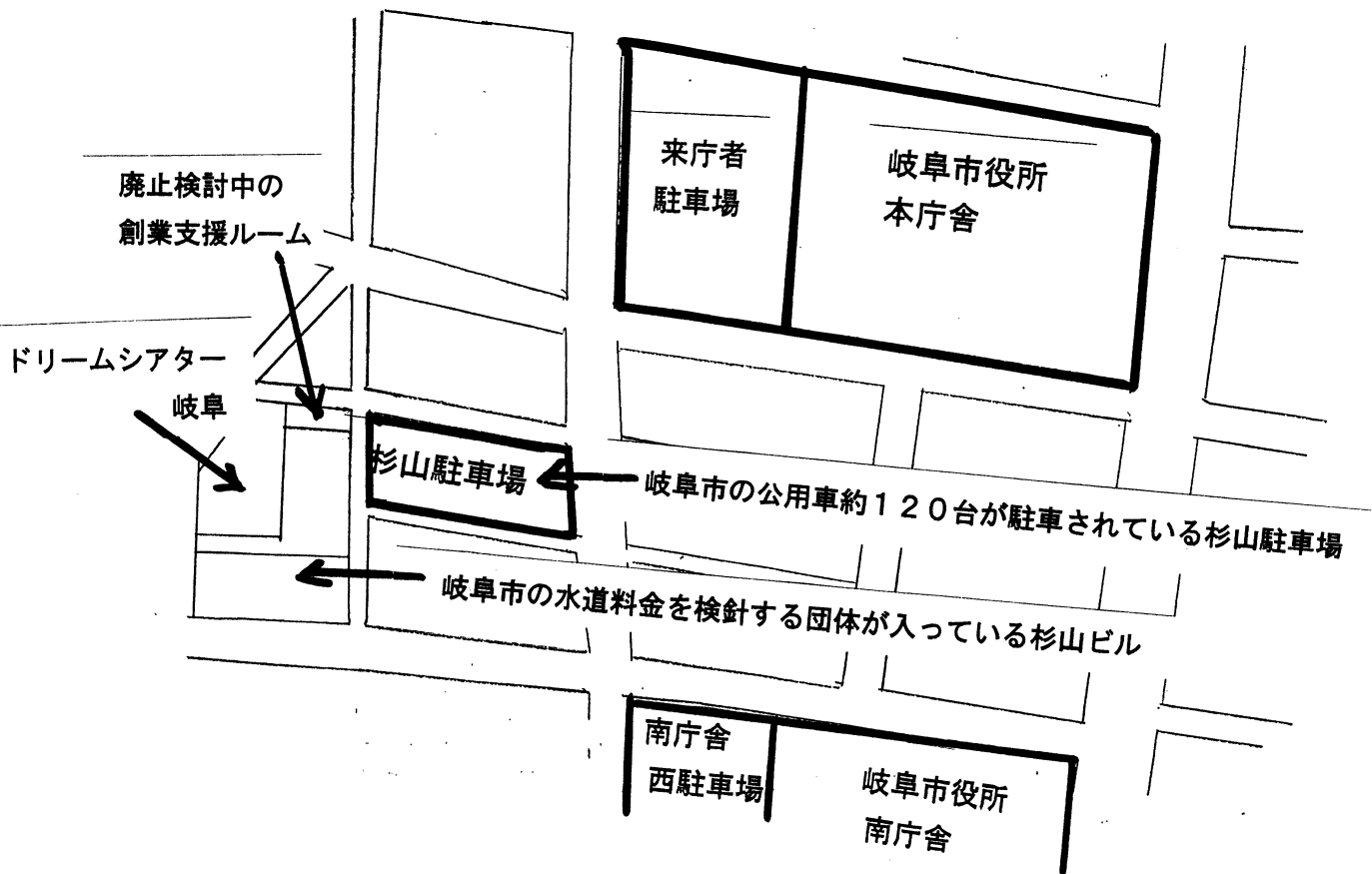
本年、従来の電力契約を見直し競争入札を一部実施しただけで、81,392,504円の税金を節約出来ました。今後、電力競争入札の効果はさらに拡大され、億単位の節約が実現すると思われます。

財源をさがす努力が求められます。文部科学省意向の教員労働条件の改善だけでなく、岐阜市の行なうべき努力は「子どもの貧困」が問題視される中、そして、消費税10%増税の論議が始まる中、市民負担の軽減を図り、「集金作業自体を廃止」する事です。同時に、教員の労働軽減も実現します。

「集金作業費への予算」増額より「子育て予算」増額が市民から求められています。

文部省（当時）の「教科書無償化」についての見解

「次代を担う児童・生徒の国民的自覚を深め、わが国の繁栄と福祉に貢献してほしいという国民全体の願いをこめて行なわれるものであり、同時に教育費の保護者負担を軽減するという効果をもっています。」



杉山町のふしぎ

杉山町には、市に関する施設が多い。1台15,000～18,000円の駐車料金が必要な杉山駐車場には公用車が約120台駐車されています。平和通に面している杉山ビルには、水道料金を検針する団体（入口は東側）が入っています（水道部本庁舎は祈年町に移転したが）。その隣にはドリームシアター岐阜（既存のビルに後から入った）があり、その裏（東側）に「廃止検討中と新聞報道」された「創業支援ルーム」が存在します。

創業支援ルームは、その前を毎日のように通過しますが、正直目立たない場所です。交通その他も便利とは思えません。柳ヶ瀬の空家が多いなら、「創業者は目だって何ぼ」ですから、話題性も含めて「引っ越したら」と言おうとしたら、事業そのものが「廃止」と報道されて驚きました。そもそも、この場所の選定が「事業にやる気」あったのか？と問われる。杉山町の隣接する他の施設も、利便性が高いとは言えないのに、ふしぎ。



松原のりかず
☎058-253-2500